



# 善正寺だより

掲示板法話

## 人は眼に見えないもの 支えを見つけたとき 一人で立っていける

この言葉はカンヌの国際映画祭でグランプリを獲得した映画監督・河瀬直美さんの言葉です。これはすごく重い言葉だと直感しました。近頃は軽しい言葉、毒交じりの言葉が横行しています。だから、一層新鮮に響きます。

受賞作の「殞(もがり)の森」という映画は、認知症になったおじいさんと介護士の若い女性の心の交流を通して、人の生と死を考えさせる奥行きのある深い映画です。彼女の出身地・奈良の日本的情緒豊かな原風景の中に人々が溶け込み、一体となっているような落ち着きこそ、日本が大切にならなければいけない。それを世界に発信できた、と河瀬監督は受賞の喜びを語っています。

眼に見えないものとは何か？映画は光や風、葬送(先祖)などを描写してはいますが、これは広い意味での「宗教的実感」を語った言葉だと言えます。現代人は眼に見えないもの、この手でつかめるものを求めて止むところを知らません。しかし、眼に見えないもの、形あるものは移ろいやすく、逆に人間を欲望のとりこにし、不幸にする危険性を秘めています。目先の利益、地位や財産…。

しかし、眼に見えないものなど、どうして見るのか？見えないものは存在しないではないか？おそらく、そのような疑問や反論があるでしょう。見えないものが見えてくる。それはズバリ、「子育てにあう」ということです。生後まもなく、両親が離婚した彼女を親代わりになって育てた方があったのです。

先日悲しいお葬式がありました。働き盛りの五十代後半、入院治療の甲斐なく大黒柱のご主人が亡くなられたのですが、いよいよ火葬場で最後の瞬間、母親と一緒に棺の前へ一歩進み出た二人の娘さんが、「お父さん、有難う、有難う……」と何度も繰り返されました。ふりしぼるような声でした。参列者一同、目頭を押さえました。二人のお嬢さんに「有難う」と言わせたのは、二十数年間奥さんともども慈しみ育てていただいた父親の慈愛の力です。

先手の大慈悲が目に見えないものを感受し、「一人で立っていける力」を育てるのです。



### ☆行事ご案内☆

## 7月の門信徒会例会

### 7月15日(日)午後7時半

- ① 現代語訳の「仏説阿弥陀経」拝読練習、意味の解説。
  - ② ご門主著『世の中安穏なれ』(中央公論新社・新刊)参照仏教への若者の遠慮なき疑問に答える質疑応答のご紹介。
- ☆「宗教の存在意義は?」、「宗教は逃げの一種では?」、「なぜ家の宗教を世襲しなければならないのか?」などなど。

三重組コーラス:7/28(土)午後7時半練習

### 7/10(火)名古屋別院「東海仏教音楽の集い」

バス1台で参加。(参加費2000円)8時半小杉出発・8:50桜  
※7/13(金)陽光苑誕生会5回目訪問(10時小杉発)都合  
できる方はできるだけご参加を。ぶっつけ本番です。童謡・懐メロ。  
※2007御堂演奏会楽譜CD受付中(2100円)

三重組十三日講 7月3日午前・午後、八王子西光寺  
講師・高橋哲了先生 ※来年3/13善正寺が初講のため、  
午後の終了後、お待ち受けに参ります。関係の世話方  
様、行事様よろしくお祈りします。

キッズサンガ・杉の子合唱団・7/14(土)4時月に一回子供の  
向けのお経教室。ゲーム、紙芝居など。誰でも参加OK。無料

一線会テレホン法話059-354-1454へお電話をいつでもどこ  
でも3分間法話が聞けます。5人の講師が週替わりで。24時間OK。



仲良く順番、鐘撞きだ!



お誕生会  
三重組コーラス 平成19年6月8日 4回目陽光苑誕生会  
「娘たちよ」を皆で一緒に歌いました。思わず涙ぐむお年寄り。コーラス揃いの式  
章をかけて、今日も明るい歌声を届けます



蓮池で極楽!カ  
メの親子4匹が  
甲羅干し

### ☆ホットニュース☆

- ◇次期三重組連続研修受講者五名決定!伊崎頭次様・芳子様(東阿倉川)服部香苗様・邦子様(別名)服部薫様(東垂坂)二年間十五回の講習よろしく。
- ◇6/9名古屋別院門徒総代会参加者四名。山本守様、伊崎幸雄様、館十三生様、館久夫様。題「開かれたお寺を目指して」熱心な受講ご苦労様でした。

### ◇お悔やみ申し上げます★

★大橋善美様(六月十六日亡・六十歳)孤野町 縋のまん善様の店主合掌  
☆カンパ有難う☆  
内田宣撫子様・木村たか子様・他匿名様よりお志や切手等を頂戴しました。



# 坊守スケッチ 心の生活習慣病



生活習慣病といえ、体に内臓脂肪がたまり、ガン、心筋梗塞、高血圧、糖尿病、動脈硬化などを引き起こす成人病のことです。いまや国民の二割に危険が迫る国民病です。その原因は肥満です。肥満を改善するためには、適度な運動と食事の見直しが必要です。

私が今ここで話題にしたいのは、体のことではなく、心にも生活習慣病があるのではないかとということです。

先日あるラジオ番組で、男児の母親からの悩み相談を聞きました。わが子が友達の高価なオモチャを壊したことが原因で、その親とトラブルになっているという話。相手の子供が弁償せよと執拗に脅してくる、わが子の悪口を言いふらしている、一方的に被害を訴えました。学校の先生もお手上げ状態。自分の怒りが少しも治まらないという剣幕です。回答者は「あなたの怒りの矛先は別にあるのではありませんか？ 姑の言いなりになって頼りないと思っっている主人を許せないのでは？ あなたもわが子のトラブルメーカーになって、将来同じ轍を踏みますよ」と達った視点からアドバイスされました。

私もこの話を聞いて「何てシコシコウな母親。先に謝れば済むことなのに。子供の喧嘩に親の出る幕ではないのに……」と思いました。

なりになる子供に囲まれ、諫める人もなく、自分の天下だったのでしょうか。

ところで、心の生活習慣病が原因と思われる別の事例を紹介します。

先日鐘を撞きに来た知らない女児の言葉に、私は驚かされショックでした。

「鐘撞きのこ褒美アメで、子供を釣ろうとしているとママが言っていた」

境内で子供の元気に遊ぶ声が響き、子供たちが自然と手を合わす習慣を身につけてくれる、ただそれだけなのに……それが私の喜びなのに……子供は大人の鏡です。下心や打算があるのは醜い大人の世界だけで十分。ネガティブに悪い方へ受け取る人は、他人まで自分と同じ下心があると思いがちです。

心理学者の堀越勝先生は「心の生活習慣病は、体、考え方、感情、行動があるべき状態でない生活をしているところから生じる。その予防と早期発見の有効な方法は、自分の人間関係を振り返ることである」と語っています。確かに自分に都合のいい人とだけ付き合っていると、先入観や思い込みが激しく、物事が客観的に見えなくなりがちです。

体の生活習慣病の予防には運動と食事の改善が必要であるように、心の生活習慣病にも予防対策があります。それは様々な人間関係の中でもまれることで、それに臨機応変に対応できることで、自然と心は鍛えられるのです。

「もまれねば この味はでぬ 新茶かな」  
お茶も人の心も全く同じ。苦勞こそ人間の中身を深めるエキスなのです。

## 三重組コーラス

★七月十日(火)名古屋別院「東海仏教音楽の集い」バスで参加、8時30分小杉発、50分桜、私服、他の団体の歌や歌唱指導、講演会。弁当付2000円

◇七月十三日(金)十時十五分・陽光苑誕生会(五回目、ぶっつけ本番です)

◇七月二十八日(土)午後七時半練習2007御堂演奏会楽譜CD申し込み受付中(2100円)8月入荷次第渡し。

十一月二十二日御堂演奏会(京都)五回目の参加。一緒に歌いましょう！

キッスサンガ・杉の子合唱団

◇七月十四日(土)午後四時よりお経、ゲーム、紙芝居、お菓子、新しいお友達もどうぞ、誰でもOK

★寄稿

四日市市 川崎孝一

★探り溜めし 種々の朝顔播種為るに落ちて過ぎてか 双葉みつちり

★近江路の 湖畔に漁舟 ひと気なく 歌物語 髪髻す 「淡海節」の やがてはらから 寺友ならむ

★慰問の場 門徒式章をば懸け遣りぬ

★四日市市 釈 兼 賢

★毎月の 寺報いただき ありがたし 味わい深く おみのり多し

★蝶をとり 籠に入れしも すぐ放ち かわいそつだと 孫の優しさ

四日市市 釈 弘 蓮  
★残酷な 事件を起こす 種を持ち 仮面の自分 恐ろし悲し

## 四日市市 新鳳レイ子

毎月の寺報何度も読み返し、全て保管しています。私の心の栄養剤です。

私の故郷鹿児島では、隠れ念仏の「とを」かやかべ」と言いました。一族はひっそり暮らし、家には表面は神棚でも、ススキのような菅壁の中には「本尊を隠し、一族だけでひっそりとお参りをしていました。決して他人には見せない。牛肉や鶏肉を食べない。」先祖は石の上に座らされ、足の間に丸太棒を挟まれ、石を載せられる拷問を受けても、自分達先祖の念仏の教えを守った。決してイジメたり悪口を言っではいけない」と両親から諭されました。子供の頃は「かやかべ」を暗いイメージで捉えていましたが、今になると先祖の教えを信じて守りぬいた「かやかべ講」の人達は立派だと思えます。

★ 編集子より ★

「善正寺だより」第百六十三号をお届けします。最近、本紙に寄稿下さる方が増え、紙面に多様な活力を頂いています。今回初めて玉稿を寄せてくださった方は鹿児島県「出身で、以前の号で「隠れ念仏」のお話を「一覽」になって、亡き「先祖の」苦勞を思い出されたそう

です。何でも自由、自由放任の世の中で感受性の麻痺した現代人。歴史に学び、自らを振り返る姿勢を取り戻したいと痛感する。お盆の季節こそ……。

暑い夏がやってきました。お元気ですか？垂坂山のドウ池に蓮の花が満開の見頃を迎えました。池の倒木には亀の親子四匹が一列に並んでのんびりと甲羅干し。亀の家族は微笑しいなあ」と思ふ瞬間でした。先日一家の大黒柱であるお父様を亡くされた葬儀に参列しました。二人の娘さんは立派に社会人となりましたが、働き盛りの突然の病死。多くの参列者が悲しみで沈んでみえました。出棺前、花を添える場面では二人の娘さんが周囲にはっきりと聞こえる涙声で「お父さんありがとう」と何度も何度も言われ、私ももらい泣きしました。人生最後の別れ際にお礼を言われてお浄土へ旅立つ人は、そう多くはないでしょう。それも実の娘さんから言われ、何と幸せなお父さんだったでしょう。生前家族を愛され、子供からも尊敬された父親であつたが、拝察されます。お父さん、お母さん、あなた達の子供に生まれてよかった」と子供から言われたら、親としてこんな嬉しいことはありません。私達もそんな家庭が築けるように精進したいものです。去る4月に昭和48年三重小卒の同窓会と追弔会に善正寺本堂を使って頂きました。また夏休み最終日には地元小杉町の子供会がラジオ体操後集まるそうです。皆さんのアイデアで善正寺に集い、一度でも多く仏縁を結んで頂くのが私の夢です。総代さんの別院研修会のテーマでもありました。開かれたお寺を目指して共に歩みたいと思います。〇〇〇〇名古屋別院三重組コーラス、バス参加(8:30分小杉発)よろしくお願ひしませう。合掌

平成十九年七月

善正寺坊守 拝